

Title	グラジエントゲルを利用した電気泳動法による非変性蛋白質の分子量の推定法について
Sub Title	
Author	西沢, 秀幸(Nishizawa, Hideyuki) 沖村, 早希子(Okimura, Sakiko) 高尾, 絵美(Takao, Emi) 阿部, 芳廣(Abe, Yoshihiro)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1987
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.32 (1987.) ,p.135- 135
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000032-0149

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

グラジエントゲルを利用した電気泳動法による 非変性蛋白質の分子量の推定法について

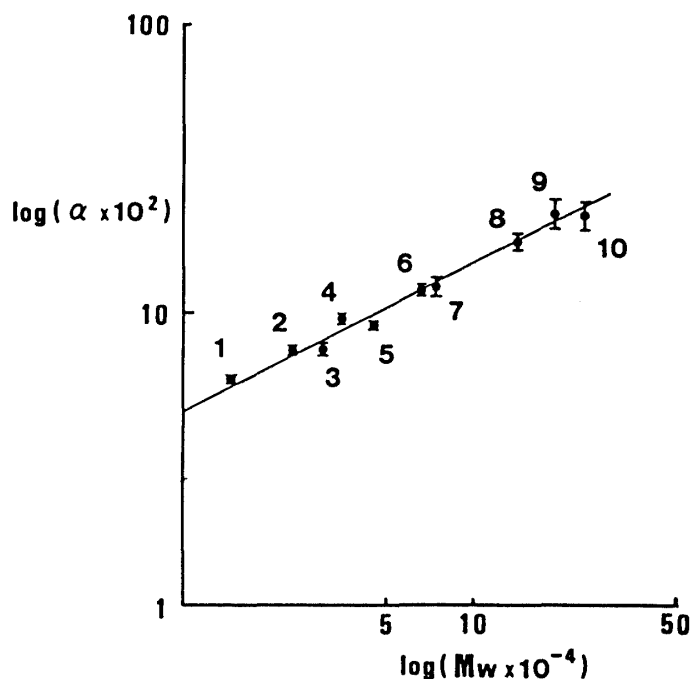
西沢秀幸, 沖村早希子, 高尾絵美, 阿部芳廣

〔日本薬学会 第107年会 (1987年4月, 京都) で発表〕

〔目的〕 界面活性剤を用いることなく, 電気泳動法によって, 非変性蛋白質の分子量を推定する簡便な方法を開発することを目的とした。

〔方法〕 T 5%~T 20% (5% BIS) の濃度勾配を有するポリアクリルアミドゲルフィルム (90×90×0.5 mm, ポリエステル不織布で補強) を用い, 濃度勾配に対し, 直交する方向に直線状に試料を置き, トリシューグリシン緩衝液 (pH 8.75) で, 150 V, 3時間泳動する。染色により, 曲線上の泳動像が得られる。別に, T 7% 及び T 14% の濃度既知のゲルを用い, 同一条件下での各試料の移動度から, グラジエントゲル内の濃度 T を内挿し, 相対移動度 R_m の対数をとって T に対しプロットする。得られた直線の傾き α の対数と, 分子量 MW の対数との相関を調べた。

〔結果と考察〕 分子量既知の8種の試料について, 分子量1.4万~24万の範囲で, 図のような結果を得た。本法は, 数種の濃度のゲルを調製する従来の方法 (1) に比し, 操作性に優れている。



(1) J.L. Hedrick and A.J. Smith, *Arch. Biochem. Biophys.*, **126**, 155 (1968).